



消費者被害防止を目指して 消費者行政の取り組みについて

近年、消費生活に関するトラブルは複雑かつ多岐に渡り、二〇一六年度は、全国の消費生活センターに約八十八万件もの相談が寄せられています。その中でも、架空請求、還付金詐欺、健康食品や化粧品等の定期購入に関する相談が増加しています。

本市では、被害防止のために広報紙やホームページなどで随時情報提供を行うとともに、出前講座や消費生活に関するイベントの実施、悪質商法防止やインターネット被害防止に関するリーフレットの配布、市内小学生を対象に消費者啓発標語を募集するなど、被害の未然防止のために啓発活動及び消費者教育に力を入れています。

現在、国では地方自治体における消費者問題への取り組みを支援し、消費生活相談体制の充実や啓発活動の強化を図っているところであり、本市でも、市民の皆様の安全と安心を守るため、消費生活センターに専門相談員を二名配置し、消費生活全般に関する相談業務を行っております。

今後、「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」の理念のもと消費生活センターの機能充実を推進し、地域や関係機関との連携を深めながら、自立した賢い消費者の育成や環境づくりに持続的に取り組み、消費者行政の強化を図ってまいります。

平成30年2月1日

結城市長 前場 文夫



▲9月9日に開催した「かしこい消費生活展」では、消費者契約クイズを実施しました。



▲市内スーパーの店頭で、消費者被害防止キャンペーンを実施しました。



▲町内クラブからの依頼を受けて、消費生活出前講座を実施しました。

ひっかからない! あきらめない!
まずは相談!

結城市消費生活センター
平日：月曜日～金曜日
(祝日、年末年始は除く)
午前9時～午後4時
(正午～午後1時は除く)

☎32-1161
土・日・祝日は
消費者ホットラインへ
☎188

「まゆげった」で
悪質商法対策

① まずは疑う!
② 断しないで、巧妙なトーク
③ きじょう型や次々勧誘

困った時は
消費生活センターへ!



▲消費者啓発標語を用いて作成したのぼり旗を市内各所に設置しました。

その表示良い事だらけ
ホントかな?

圏域の人口・面積		
	人口	面積
小山市	166,760人	171.76km ²
下野市	59,431人	74.59km ²
野木町	25,292人	30.26km ²
結城市	51,594人	65.76km ²
計	303,077人	342.37km ²

※人口は、平成27年国勢調査(10月1日現在)

■定住自立圏とは
地方圏の大幅な人口減少と急速な少子高齢社会の進展に対応するため、国が推進する定住自立圏構想に基づき、近接する自治体が連携・協力して地域の活性化を図るものです。

■小山地区定住自立圏
構成市町が有する地域資源を最大限に活用しながら連携事業を推進することで人口30万人超の北関東の拠点圏域として、一体的に定住促進と地域活性化を図る取り組みです。

■小山地区定住自立圏
共生ビジョン
小山地区が目指す将来都市像およびその実現のため、次の3つの政策分野で具体的な取り組みを定めます。

- 生活機能の強化
- 結びつきやネットワークの強化
- 圏域マネジメント能力の強化

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



小山駅東口 ▶ 自治医科大学附属病院 ▶

政光くん・寒川尼ちゃん
カンピくん
のぎのん
まゆげった

新幹線の停車する鉄道や国道が交差する交通の要衝。農業・工業・商業の調和のとれた栃木県第2位の都市

下野市 SHIMOTSUKE
小山市 OYAMA
野木町 NOGI
結城市 YUKI

下野薬師寺跡をはじめとする歴史的資源のほか、自治医科大学と同附属病院などが立地しています

結城紬をはじめとした伝統工芸や見世蔵などの歴史・文化的資源が豊富な中世城下町

見世蔵・城下町の街並み ▶

野木町煉瓦窯
渡良瀬遊水地や、日本で唯一のホフマン式輪窯の原型をとどめる野木町煉瓦窯などを有しています

市企画政策課 ☎34-0404

定住自立圏で魅力ある地域を目指します

平成28年4月7日、本市は小山市・下野市・野木町と「小山地区定住自立圏」形成協定を締結しました。同年10月には、構成市町が協力して実施する具体的な取り組みを示した「共生ビジョン」を策定し、連携事業を開始しました。

今後、「共生ビジョン」を基本に、さまざまな分野で連携を図り、住民が住みたい・住み続けたいと思える魅力的な地域づくりを推進していきます。